

令和4(2022)年度

学生募集要項

医学部学校推薦型選抜

公募（地域特別枠）

【重要】新型コロナウイルス感染症対策における対応

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、記載されている試験内容と異なる方法で選抜を実施することがあります。

入学試験の日程等を含め、変更が生じた場合は、本学ホームページにて随時公表いたしますので、必ず本学ホームページにて最新情報を確認してください。

また、本要項には「新型コロナウイルス感染症対策（受験生の対応）について」を記載していますので、必ず内容をご確認ください。

本学ホームページトップ>医学部>受験生の皆さん
<https://www.dokkyomed.ac.jp/dusm/exam/>



CONTENTS

建学の精神・建学の理念・教育理念・教育目標	1
ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	2
カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	3
アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	4
学校推薦型選抜（公募（地域特別枠））の趣旨及び目的	7
募集学科及び募集人員	7
推薦基準（出願資格）	7
入学後のカリキュラム上の条件	8
出願手続	8
出願方法	8
試験日・試験場及び試験方法	9
選抜方法	10
合格発表	10
入学手続	11
納入金	11
奨学金制度	11
寄付金	11
合格発表についての注意事項	12
入学前教育について	12
個人情報の取扱いについて	12
新型コロナウイルス感染症対策（受験生の対応）について	12
試験場案内図	13

建学の精神

学問を通じての人間形成

建学の理念

- 1) 人間性豊かな医師及び看護職者の育成
- 2) 能力の啓発に重点を置く教育方針
- 3) 地域社会の医療センターとしての役割の遂行
- 4) 国際的交流に基づく医学・看護学研究

教育理念

患者及びその家族、医療関係者をはじめ、広く社会一般の人々から信頼される医師の育成。

教育目標

- 1) 教育とは「学生本人の力をひき出し、育む」ことが本意であり、医学を修得するのは学生自身であることを十分認識させ、主体的な学習能力を養う。
- 2) 医師であると同時に、社会人として心身ともに健康でバランスのとれた人格形成を目指す。
- 3) 患者の権利と生命の尊厳とを尊重し、医の倫理に則り、思いやりのある医療を実践できる医師としての人格を養う。
- 4) 患者の身体的・精神的・社会的側面を理解して、問題点を整理し解決する能力を養う。
- 5) 地域社会における保健・衛生及び福祉の向上に独自の計画が立てられる能力と責任感を養う。
- 6) 国際的医療情報の収集及びそれを解析する能力を養う。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学所定の科目を履修して卒業に必要な単位を修得した上で、総合試験、共用試験および卒業試験に合格し、本学の教育理念である「患者やその家族、医療関係者をはじめ、広く社会一般の人々から信頼される医師」として活躍できる資質を有すると判断される者に卒業を許可します。

具体的には以下のような、それぞれ2要素からなる7分野の学修成果（アウトカム）が求められます。

I. 医学知識

- 1) 人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。
- 2) 種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。

II. 臨床能力

- 1) 卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。
- 2) 医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。

III. プロフェッショナリズム

- 1) 医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。
- 2) 医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。

IV. 能動的学修能力

- 1) 医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。
- 2) 書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。

V. リサーチ・マインド

- 1) 最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。
- 2) 自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。

VI. 社会的視野

- 1) 保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。
- 2) 医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。

VII. 人間性

- 1) 医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
- 2) 多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーに示された学修成果（アウトカム）を学生が達成することを目的として、本学では以下のポリシーに基づくカリキュラムを構築し、実践しています。

- ① 学生が正しい医学知識を系統的に身に付けられるよう、臨床実習前教育の主要必修科目については、最新のモデル・コア・カリキュラムに準拠して編成した講義と実習により行う。（Ⅰ）
- ② 正しい診療技能や医療安全への配慮などを実践できる医師を養成するため、参加型臨床実習を充実させる。（Ⅱ）
- ③ 医師に求められる良識、倫理観や教養などを学生が身に付けられるよう、人間形成に資する学修機会を低学年から高学年まで設けるくさび形カリキュラムを編成する。（Ⅲ-1、Ⅶ）
- ④ 学生の内発的モチベーションや能動的学修能力、コミュニケーション能力、協調性を育むため、アクティブ・ラーニングやグループ学習、ICT活用教育などを含む種々の教育技法を活用する。（Ⅲ-2、Ⅳ）
- ⑤ 地域医療におけるニーズの理解やリサーチ・マインドの涵養などを促し、卒後キャリアの多様性への対応を可能にするための学修機会を充実させる。（Ⅴ、Ⅵ-1）
- ⑥ 医学や医療をグローバルな視点で捉える豊かな国際性を育てるための国際交流や海外研修の機会を充実させる。（Ⅵ-2）
- ⑦ 学生が自らの学修成果達成度を具体的かつ客観的に認識できる方法で成績評価とフィードバックを行い、適切な学修行動の継続を促す。（Ⅰ～Ⅶ）

（ ）内は、それぞれのカリキュラム・ポリシーが目的とする学修成果（アウトカム）のディプロマ・ポリシーにおける分類です。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

獨協医科大学では、「学問を通じての人間形成」を建学の精神とし、これに基づき、医学部教育理念を「患者及びその家族、医療関係者をはじめ、広く社会一般の人々から信頼される医師の育成」と定めています。

また、卒業認定に求められる具体的な学修成果（アウトカム）や能力・資質をディプロマ・ポリシーに示し、その達成に向けたカリキュラム・ポリシーを開示しています。

獨協医科大学医学部では、教育理念やカリキュラム・ポリシーに基づいてより効果的に学生に対する教育を行うため、次のような基本的な素養を満遍なく備える人を入学生として求めます。

<求める入学生像>

- 1) 本学の建学の精神、本学医学部の教育理念、カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーを理解・賛同し、本学の発展に貢献する意欲のある人
- 2) 医学を学ぶ上で必要な数学、理科及び英語を中心とする基礎学力、読解力、表現力を有している人（Ⅰ）
- 3) 医学への強い志を持って社会に貢献する意欲のある人（Ⅱ）（Ⅲ）（Ⅳ）（Ⅴ）（Ⅵ）（Ⅶ）
- 4) 計画性を持って学習に臨み、自ら問題を解決する意欲のある人（Ⅳ）（Ⅴ）
- 5) 社会の一員としての理性と常識を備え、広い視野を持ち適切かつ公正な判断ができる人（Ⅵ）（Ⅶ）
- 6) 協調性とコミュニケーション能力のある人（Ⅲ）
- 7) 他者の立場になって物事を考え行動できる人（Ⅶ）
- 8) 国際的視野を持って医学を志す人（Ⅵ）

（ ）内は、ディプロマ・ポリシーに該当する項目です。

獨協医科大学医学部では受験生に対し、入学生に求めるこれらの素養及び学力の3要素（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学修する態度）を踏まえ、多面的・総合的に評価・判定するため、次のとおり様々な選抜方法を導入しており、各選抜方式の特性に応じ、各種の試験方法を取り入れて、公平かつ公正な入学者選抜を行います。

<各選抜方式の概要>

(1)一般選抜

学力試験結果に重点を置き評価する。

(2)大学入学共通テスト利用選抜

共通テストの学力試験結果に重点を置き評価する。

(3)総合型選抜

多様な試験結果を総合的に評価する。

(4)学校推薦型選抜（公募（地域特別枠））

出身高校の推薦に重きを置き評価し、併せて地域医療貢献への意欲等を評価する。

(5)学校推薦型選抜（指定校制）

出身高校の推薦に重きを置き総合的に評価する。

(6)学校推薦型選抜（指定校制（栃木県地域枠））

出身高校の推薦に重きを置き評価し、併せて栃木県の地域医療貢献への意欲等を評価する。

(7)学校推薦型選抜（系列校）

出身高校の推薦に重きを置き総合的に評価する。

(8)一般選抜（栃木県地域枠）

学力試験の結果に重点を置き評価し、併せて栃木県の地域医療貢献への意欲等を評価する。

(9)大学入学共通テスト利用選抜（栃木県地域枠）

共通テストの学力試験結果に重点を置き評価し、併せて栃木県の地域医療貢献への意欲等を評価する。

<入学までに求める学習成果>

医学部では、多様な学問分野を学修することから、将来、医師となり活躍するために必要な学力、倫理観、医学や社会への高い関心などを身に付けておくことを望みます。

「学力の3要素」を踏まえた多面的・総合的評価について

◎：特に強く関連

○：強く関連

△：関連

入試種別		評価方法	知識・技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度	
総合型選抜	総合型	自己申告書等			◎	
		適性試験	◎	○		
		小論文	○	◎		
		面接		◎	◎	
学校推薦型選抜	公募（地域特別枠） 指定校制	調査書			◎	
		自己申告書等			◎	
	指定校制（栃木県地域枠） 系列校	適性試験	◎			
		小論文		◎		
		面接		◎	◎	
一般選抜	一般	調査書			◎	
		学力試験	◎			
		小論文		◎		
		面接		◎	◎	
	大学入学共通テスト利用	調査書				◎
		学力試験	◎			
		小論文		◎		
		面接		◎	◎	
	栃木県地域枠	調査書				◎
		学力試験	◎			
		小論文		◎		
		面接		◎	◎	

〔禁煙への取り組みについて〕

獨協医科大学では、人々の健康を守る医療職者を育成する大学として、入学者は喫煙しないことを約束できる方とします。

○ 学校推薦型選抜（公募（地域特別枠））の趣旨及び目的

わが国では現在、医師の地域及び診療科の偏在により医療体制に様々な問題が生じており、とりわけ、地方における医療環境は深刻な状況となっております。

このため、国の医師確保対策のひとつとして医学部の定員増が図られ、本学においても平成21年度に10名、22年度に5名、24年度に3名、さらに25年度に2名の入学定員の増員が認められ、現在は120名の入学定員となっております。

平成21年度に増員された10名については、平成22年度入試から「公募推薦（地域特別枠）入学試験」として募集を開始いたしました。

平成23年3月、本学に近接する北関東自動車道（常磐道－東北道－関越道を結ぶ）が全面開通し、平成25年4月には同自動車道壬生インターチェンジと本学を結ぶ「インター北通り」が開通いたしました。このように北関東地域間はもとより他地域からのアクセスが格段に向上いたしております。また、栃木県の支援により本学大学病院を基地とする県内初のドクターヘリが運航しており、前述の道路交通網の整備と相まって救命救急医療に果たす本学の役割も極めて重要となってきており大きな期待が寄せられています。

このように北関東地域における医療の中核としての本学の使命は重く、今後更なる地域医療への貢献と医療人の育成に努めていかなければなりません。

以上のことから、本学及び大学病院のある栃木県、埼玉県並びに隣接する群馬県、茨城県、福島県及び東京都を対象地域に、将来、当該地域での医療に貢献したいとの「熱い思い」を持った人材を求めます。

○ 募集学科及び募集人員

医学部医学科 10名

○ 推薦基準（出願資格）

次の要件をすべて満たしている者としします。

1. 卒業後、北関東3県（栃木・群馬・茨城）、埼玉県及び福島県いずれかの地域で医師として医療に従事する意志のある者
2. 北関東3県（栃木・群馬・茨城）、埼玉県、福島県及び東京都の各都県内高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を卒業見込みの者、または本人もしくは保護者が、平成31年4月1日から引き続き当該地域に在住している者（この場合は住民票を添付してください）
3. 合格した場合、必ず入学する者
4. 高等学校を令和4年3月卒業見込みの者
5. 在学期間（第3学年については1学期）を通して全体の学習成績の状況が4.0以上であること（新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業により、第3学年1学期までの成績記載ができない場合は、その理由を付して第2学年3学期までの成績で推薦基準を満たすこと）
6. 本学の医学教育に耐え得る心身と医師を志すにふさわしい資質を有する者
7. 学校長が推薦し得る者

※ 本学推薦指定校に在学し、双方の出願資格を満たした者は学校推薦型選抜（指定校制）との併願が可能です。併願する場合、本要項と出願手続等が異なりますので、学校推薦型選抜（指定校制）要項を確認の上、出願してください。

なお、学校推薦型選抜（指定校制（栃木県地域枠））との併願はできません。

○ 入学後のカリキュラム上の条件

学校推薦型選抜（公募（地域特別枠））で入学後、必修科目及び選択必修科目に加えて、地域医療に関する所定科目の履修が必須となります。

○ 出願手続

1. 出願期間：令和3年11月1日（月）～11月9日（火）（出願書類郵送必着）

2. 出 願 先：獨協医科大学 学務部入試課

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地

電話 0282（87）2108（直通）

○ 出願方法

下記のものを取り揃え、上記出願期間中に書留郵便により送付してください。

① 入学志願票A・写真票B・受験票C（裏面に切手（速達料金分）貼付）・検定料納付票D

※ 本学所定用紙に出願者本人が記入してください。

② 自己申告書 ※ 本学所定用紙に出願者本人が記入してください。

③ 調査書（令和3年度第1学期までの成績記載のもの、または、令和2年度第3学期までの成績記載のもの）

④ 学校長推薦書 本学所定用紙（本学HPよりダウンロード可【Word形式】）

URL：<https://www.dokkyomed.ac.jp/dusm/exam/>

⑤ 写真 2枚（縦4cm、横3cm、無帽上半身正面、令和3年8月以降撮影のものを入学志願票A及び写真票Bに貼付してください）

⑥ 住民票（出願資格「本人もしくは保護者が平成31年4月1日から引き続き当該地域に在住している者」に該当の者のみ提出）

⑦ 検定料 60,000円（本学所定の振替払込用紙を用い最寄りのゆうちょ銀行・郵便局から払込みをしてください。なお、払込機能付きATMを利用することも出来ます。ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口から払込みの場合は「振替払込受付証明書（お客様用）」（原本）を、払込機能付きATMから払込みの場合は「ご利用明細票（振替受付票）」（コピー）を検定料納付票Dに貼付してください）

⑧ 連絡用宛名シール（合格通知等の発送に使用しますので、確実に受け取ることができる住所（原則として保護者の住所）及び志願者本人の氏名を記入してください。）

※1. 上記の手続を完了した者には、本学から受験票を発行します。

※2. 受理した書類・検定料は理由の如何にかかわらず返還しません。

※3. 疾病・負傷や身体障害等により、受験上の特別な配慮を希望する者は、下記の本学ホームページに記載の申請手順に従い、申請を行ってください。

<https://www.dokkyomed.ac.jp/dusm/exam/special-measure.html>



○ 試験日・試験場及び試験方法

<第1次試験>

1. 試験日：令和3年11月13日（土）
2. 試験場：獨協医科大学
3. 集合時間：8:30
4. 集合場所：本学掲示板前（13ページ参照）
5. 試験方法

	時 間
小 論 文	8:50 ～ 9:50 (60分)
基 礎 適 性 (英語)	10:05 ～ 11:05 (60分)
基 礎 適 性 (数学)	11:20 ～ 12:20 (60分)
書 類 審 査 (調査書・推薦書・自己申告書)	

※小論文・基礎適性は、記述式です。

試験当日の注意事項：

- ① 受験票を必ず携帯してください。
- ② 8:50以降の試験室への入室は一切認められません。
- ③ 机上には、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、目薬を置くことができます。
- ④ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すると不正行為となります。
- ⑤ 試験時間中に使用すると不正行為となる電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってください。
- ⑥ 英文字がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうこともあります。

<第1次合格発表>

1. 日 時：令和3年11月17日（水）10:00
2. 方 法：本学掲示板（13ページ参照）及び本学ホームページ（12ページ参照）に掲示・掲載します。

<第2次試験>

1. 試験日：令和3年11月19日（金）
2. 試験場：獨協医科大学
3. 集合時間：9:00
4. 集合場所：本学掲示板前（13ページ参照）
5. 試験方法：面接（MMI方式） 9:30～

※MMI（multiple mini interview）は、受験者が評価項目別の面接室を巡り、各々独立した面接を約5分間で複数回行います。この選抜では、各受験者に対して5つ程度の面接室を設けます。

試験当日の注意事項：

- ① 受験票を必ず携帯してください。
- ② 集合時間を厳守してください。

○ 選抜方法

第1次試験は、書類審査及び小論文、基礎適性（英語・数学）の成績によって合格者を決定します。

第2次試験は、第1次試験合格者に対して面接を行い、第1次及び第2次試験の成績を総合して合格者を決定します。

なお、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、第3学年の評定欄、部活動等の諸活動の実績、資格・検定試験等の成績が記載できないことや出席日数、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって志願者が不利益を被ることがないように、志願者の実情に配慮した選抜を行います。

1. 書類審査：

調査書は、「学習成績の状況」だけでなく、部活動やボランティア活動、特別活動の記録や総合的な学習の時間の内容・評価など、調査書の他の記載事項も有効に活用し、点数化します。推薦書、自己申告書は、推測される日常活動を考慮して社会に向き合う態度、主体性、協調性、医学に対する志などを評価します。

2. 小論文：

課題文の読解力や要約力、良好な倫理観及び解答を明確な分かりやすい文章で表現できるかなどを評価し、点数化します。

3. 基礎適性（英語・数学）：

英語、数学の基本的な学力を有するか評価します。

選択問題形式での出題は行わず、特定の志願者が不利にならない出題となるよう配慮します。

4. 面接（MMI方式）：

表現力、判断力、論理的思考力や協調性及び地域医療貢献への意欲などを評価し、点数化します。

○ 合格発表

1. 日時：令和3年12月1日（水）10:00
2. 方法：本学掲示板（13ページ参照）及び本学ホームページ（12ページ参照）に掲示・掲載し、合否結果を本人並びに当該学校長宛通知します。また、合格者には合格通知書とともに入学手続書類を送付します。

○ 入学手続

期 間：【郵送のみ】令和3年12月9日（木）・10日（金）（必着）

※ 合格者は上記期間中に入学手続書類を取り揃え、所定の手続をしてください。

※ 学納金は入学手続時までに納入を完了してください。

○ 納入金

下記の「1. 入学費用」と「2. その他の費用（委託徴収金）」の合計金額とします。

なお、入学金を除く学納金（授業料及び教育充実費）については、2分割納入（分納）の制度があります。

1. 入学費用

項 目	全納の場合	分納の場合		備 考
		前期	後期	
入学金	1,500,000 円	1,500,000 円		入学時のみ
授業料	3,500,000 円	1,750,000 円	1,750,000 円	
教育充実費	3,600,000 円 (2,100,000 円)	1,800,000 円 (2,100,000 円)	1,800,000 円 (-)	初年度 (2年目以降)
合 計	8,600,000 円 (5,600,000 円)	5,050,000 円 (3,850,000 円)	3,550,000 円 (1,750,000 円)	初年度 (2年目以降)

※ 分納の場合、入学手続き完了後に当該手続きに関する書類を送付します。

※ 教育充実費の分納は初年度のみとなります。

2. その他の費用（委託徴収金）

項 目	金 額	備 考
学友会費	100,000 円	入学時のみ
父母会費	600,000 円	入学時のみ
合 計	700,000 円	

※ 入学手続き完了者は必ず入学するものとして取扱いますので、既納の納入金は一切返還いたしません。

○ 奨学金制度

- ・ 獨協医科大学特別奨学金
- ・ 獨協医科大学医学生教育ローン利子補給奨学金
- ・ 関育英奨学金
- ・ 獨協医科大学桜杏会互助事業修学金
- ・ 獨協医科大学災害罹災等学生に対する授業料減免
- ・ 日本学生支援機構奨学金

○ 寄付金

本学では教育研究設備充実のため、入学後に別に定める「寄付金募集趣意書」に基づき、任意の寄付金を募集します。

○ 合格発表についての注意事項

合格者の受験番号は本学医学部掲示板及びホームページ上で発表します。



本学ホームページ

<https://www.dokkyomed.ac.jp/dmu/>

【合格者番号の掲示・掲載期間】

第1次合格発表：令和3年11月17日（水）10:00から11月18日（木）17:00

合格発表：令和3年12月 1日（水）10:00から12月 4日（土）17:00

注意：

- *合格発表に関する問い合わせ、インターネットの操作方法等には一切応じません。
- *インターネット上で、データの改ざん、通信上のトラブル等が発生しても本学は一切の責任を負いません。
- *インターネットの誤操作、読み違い等を理由とした第2次試験の欠席、指定期間以外の入学手続きは一切認めません。

○ 入学前教育について

本学では、学校推薦型選抜での合格者に対して、入学前教育を行います。詳細については、合格通知書送付時にお知らせします。

○ 個人情報の取扱いについて

本学では、出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、入学者選抜、合格発表及び入学手続きと、これらに付随する業務を行うために利用します。

また、入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究、入学後の学生支援に関する業務に利用します。

取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用することはありません。

※入学試験実施後に新型コロナウイルス罹患者が判明した場合、本学において保健所等関係機関と連携し、新型コロナウイルス感染症の罹患や濃厚接触者の疑いがある受験者の行動歴等の調査を行う際には、本学が保有する志願者情報を当該関係機関に提供する場合があります。ただし、その場合であっても、提供する個人情報は新型コロナウイルス感染拡大防止の目的以外には使用しません。

○ 新型コロナウイルス感染症対策（受験生の対応）について

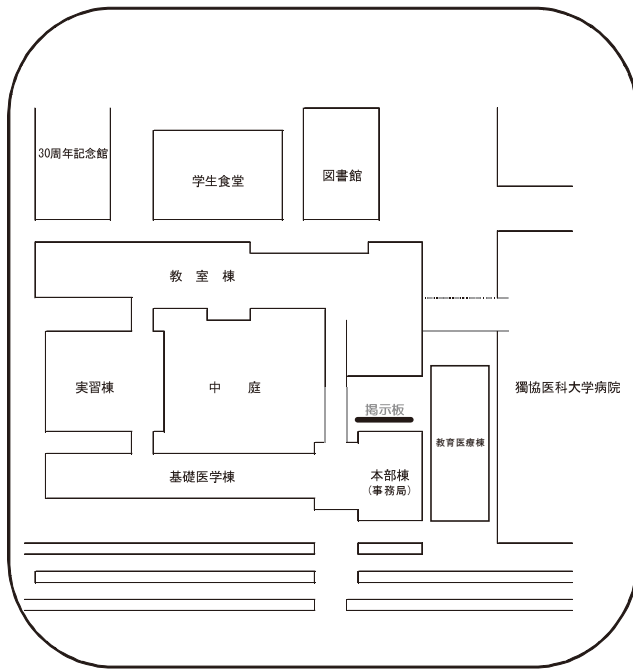
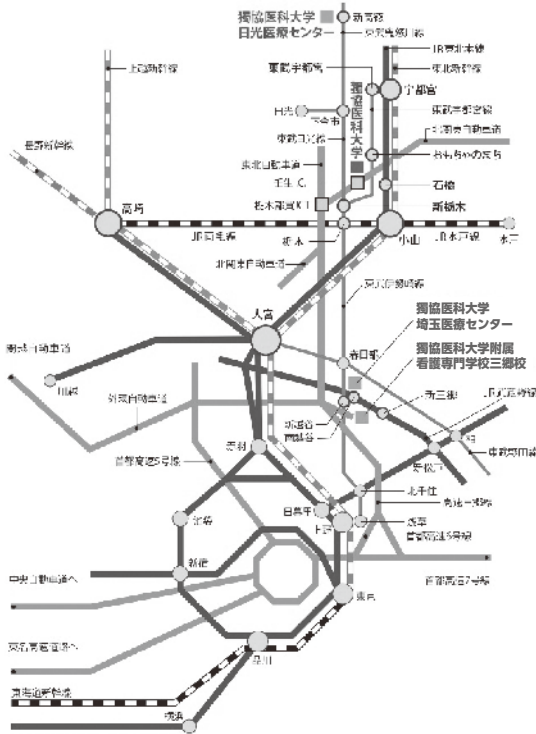
新型コロナウイルス感染防止に関する受験生への要請事項等について、医学部webサイトの「受験生の皆さんページ」に掲載しますので、本要項と併せて必ず内容をご確認ください。



医学部webサイト（受験生の皆さんページ）

<https://www.dokkyomed.ac.jp/dusm/exam/>

試験場案内図



電車を利用する場合

(東武鉄道を利用)

- 東武宇都宮線「おもちゃのまち」駅下車、西口より徒歩約15分（「獨協医大病院前」行きバスにて約3分）

(JRを利用)

- JR「宇都宮」駅より、市内バスにて「東武宇都宮」駅下車（約10分）
「東武宇都宮」駅より東武宇都宮線にて「おもちゃのまち」駅下車、西口より徒歩約15分（「獨協医大病院前」行きバスにて約3分）
- JR「宇都宮」駅よりタクシーにて約35分、JR「小山」駅よりタクシーにて約45分、JR「石橋」駅よりタクシーにて約15分

お車を利用する場合

- 東北自動車道から栃木都賀JCT經由北関東自動車道「壬生IC」から2分
- 東北自動車道「栃木IC」から30分
- 東北自動車道「鹿沼IC」から30分

